

地域社会とのコミュニケーション

会社としての原動力である「地域に密着した経営体制」を事業活動だけでなく、私たちが暮らす地域社会にも、広く役立てたいと考えています。そうした中で様々な取り組みを紹介させていただきます。



○「しながわCSR推進協議会」に加盟

2012年4月に、「しながわCSR推進協議会」に加盟しました。この協議会は、区民(企業)と区との協働で「私たちのまち」品川区をつくるという理念に基づき、企業の社会貢献活動を推進することを目的に、2010年度に発足しました。

当社は、これまでも様々な活動を通じて、社会貢献活動を行なってまいりましたが、この協議会への加盟を新たな起点として、

人と環境を大切に、社会に役立つ活動をさらに継続していきます。

2012年10月24日、「しながわCSR推進協議会」による清掃美化活動が実施され、当社も参加しました。当日は、予想以上にゴミが集まり、活動の必要性を実感することとなりました。近隣住民の方々から暖かい感謝の言葉をいただくこともあり、すがすがしい気持ちで活動することができました。



しながわCSR協議会が主催した清掃美化活動



清掃美化活動に参加した本店有志たち

○「社会福祉法人 品川区社会福祉協議会」にカレンダーを寄付

「(福)品川区社会福祉協議会」は、地域福祉の充実を図るため、地域が主体となって組織された民間の団体です。

本店がある品川区で暮らす方々のお役にたてるよう2012年12月、カレンダーの寄付をさせていただきました。

このカレンダーは、「(福)品川区社会福祉協議会」を通じて、ひとり暮らしの高齢者や要望のある福祉施設・ボランティア団体等に配布され、活用していただいています。



(福)品川区社会福祉協議会からいただいた御礼状

○事業継続計画 (BCP) の認定

2012年10月、大規模災害を想定した事業継続計画(BCP)を策定し、国土交通省関東地方整備局より認定をいただきました。

これは、当社および協力会社の社員およびその家族の生命と安全の確保ならびに、自社で施工している現場の被害状況の把握と二次災害の防止に努めることを目的とし、また、被災道路復旧等の社会的要請や民間施設、周辺地域からの救助要請に応えることを基本方針としています。



BCPの認定証



避難訓練でのAED講習

○地元の方々とのふれあい (東九州道森崎地区舗装工事)

本工事は、佐伯市蒲江IC～延岡市北川IC間の延長26.2kmのうち、森崎地区で蒲江ICのアスファルト舗装工事と、葛原南工区では、トンネル内のコンクリート舗装工事を施工しました。

工事期間中は、静かな土地に多くの大型工事車両を通行させなければならず、地域への配慮をしながら工事を進めることが重要な課題でした。その一環として、地元小学校のプール清掃、通学見守り隊、運動会前のグラウンド整備、働く自動車の見学会、中学生に舗装体験、開通前のウォーキングなど、たくさんのイベントを企画しました。



子どもたちを前にアスファルト舗装について説明中



自分たちの背丈よりも高いカラーコーンを見て、はしゃぐ子どもたち



現場見学会では、施工後もない舗装の表面が、まだ温かいことに興味津々の様子



小学校でのプール清掃活動をお手伝いさせていただきました



地元の小学校で開催されたおまつりに招待され、感謝状をいただきました



中学生たちが参加した見学会では、排水性舗装の機能を体験してもらいました



開通前のウォーキングを企画し、たくさんの方々に参加していただきました

VOICE

地域に貢献できる土木の力を再認識

九州支店/鈴木 清孝



豊かな山ときれいな海に囲まれた佐伯市蒲江町は海釣りのメッカとして大変有名な場所です。静かな土地を多くの工事車両が通行するため、地域の皆さんに対して大きな負担となります。

そのため、工事関係者が積極的に地域の皆さんと交流を持つことで少しでも相互理解が進み、地域への負担が少なくなればと思い、さまざまなイベントを実施しました。小学生のうれしそうな笑顔や、中学生の興味津々な眼差し、開通時のうれしそうな住民の皆さんなど、思い出深い出来事ばかりでした。現場を引き上げるときに、地元の区長さんより、送別会をご自宅で開催いただいたことは本当にうれしく思いました。



○ ペットボトルキャップの収集活動

2012年度も引き続き、「NPO法人Reライフスタイル※」が行うペットボトルキャップの収集活動に参加しています。

集められたペットボトルキャップは、樹脂メーカーに引き取られ、その対価が「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを日本委員会 (JVC)」を通じて世界の子どもたちにワクチンが届られます。ペットボトルキャップをリサイクルすることによって、ワクチンを贈るという活動です。

※「NPO法人Reライフスタイル」についての詳細は、Webサイトからご覧ください。

<http://www.re-lifestyle.com/>



本店内で集められたペットボトルキャップ

○ 「移動パン工房」による販売

2010年11月から2012年12月まで、「移動パン工房」による販売を本店前にて実施しました。これは、「特定非営利活動法人フリージア」が、養護学校等、学校教育課程修了後の障がい者の方たち、および中途障がい者の方たちのために、就労支援を目的とした職場づくりに関する事業の一環として、行なっていたものです。毎月1回、お昼時に社員・近隣の方々に購入していただきました。



本店玄関前での販売の様子

従業員とともに

・健康増進(心とからだ)の取り組み

からだの健康管理は、労働安全衛生法に則した定期健康診断を基本とし、健康保険組合の協力により35歳以上の従業員については、生活習慣病検診を行っています。各検診で、再検査が必要な者については、法定検診分は会社にて負担をし、早期発見と早期治療を目指しています。心のケアについては、年1回全従業員に対し、保健師の面談を行い、きめ細かな検診が出来るよう配慮しています。

・高齢者、障がい者雇用の推進

健康で、働く意欲のある定年退職者が長年培った経験や専門知識を活かし、若年者への技術を伝承する事を目的とし、満65歳迄の再雇用制度を導入しています。

障がい者の雇用については、法定雇用率(2.0%※)の達成を目指しています。2012年6月1日現在の雇用率は1.85%となっています。

※法定雇用率2.0%は、2013年4月1日時点の数値です。



保健師との面談の様子

東日本大震災における取り組み

東日本大震災発生以来、被災地の復興に継続して取り組んできました。被災地の方々が平穏な日々を取り戻すことができる日まで、復興支援を続けていきます。

● 消防ポンプ車の寄贈

気仙沼市では、ほとんどの消防自動車被災し使用不能となり、他県の廃車予定だった消防自動車を譲り受けて使用しているのが現状でした。長年にわたり営業所および合材工場がその営業拠点としてお世話になってきた気仙沼の復興支援として、消防ポンプ車1台とRV車3台を寄贈しました。



気仙沼・本吉地域広域事務組合消防本部に寄贈した消防ポンプ車

● ライフジャケットの贈呈

震災被害に遭われた方々への支援として、東日本大震災復興支援グループ「きぼう」は、被災地にライフジャケットの配布を推進しています。当社は、同グループ「きぼう」の活動に賛同しています。



ライフジャケットを受けとられた方々からのお礼状

● 新入社員研修でボランティア活動

新入社員研修の一環として被災地に赴き、がれき撤去やアスファルト舗装などのボランティア活動を行っています。被災地の現状をテレビなどを通してではなく、自分の目で直に見ることで、様々なことを学んで欲しいと考えています。



被災地での新入社員研修の様子

● 復興支援グッズの販売支援

震災復興に携わってきた中で、仮設住宅に入居されている方々が、復興支援グッズをハンドメイドで製作されていることを知りました。製作された方々に少しでも貢献できるように、復興支援グッズの販売を各地で支援しています。



ハンドメイドの復興支援グッズ